

2025 年 10 月 7 日
JFE シビル株式会社

鋼コンクリート柱-鉄骨梁混合構法「J-SCS[®]構法」の建築技術性能証明取得

JFE シビル株式会社(以下、JFE シビル)は、柱を鋼コンクリート柱、梁を鉄骨梁とした混合構造である「J-SCS[®]構法 -薄肉鋼管で横補強した鋼管内蔵コンクリート柱・鉄骨梁混合構法-」(以下、本構法)を JFE スチール株式会社(以下、JFE スチール)と共同開発し、一般財団法人日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しました(GBRC 性能証明 第 25-02 号、2025 年 4 月 23 日付)。

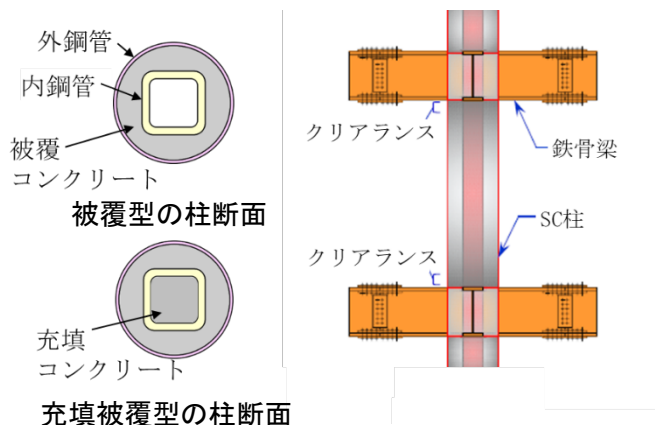
本構造は、角形鋼管である内鋼管の外側、またはさらに内側にコンクリートを充填し、薄肉の円形鋼管である外鋼管でコンクリートを拘束する鋼コンクリート柱(以下、SC 柱)と鉄骨梁の混合構造です。SC 柱は、通常の鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造の柱で必要となる主筋と帯筋を無くし、代わりにコンクリートを薄肉鋼管で拘束した形状で、配筋および型枠設置作業が不要となります。SC 柱の内鋼管には、豊富な実績のある JFE スチールの建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「JFE コラム BCR^{※1}(BCR295, JBCR^{※2} 295, JBCR^{※2} 385)」を主に用い、高品質を実現します。SC 柱の外鋼管は、型枠の役割を果たすとともに、コンクリート充填鋼管(CFT)構造と異なり、柱上下の位置にスリットを設けることで外力に対して直接抵抗せず、コンクリートへの拘束効果の役割を担っています。

※1 BCR は日本鉄鋼連盟の登録商標です。

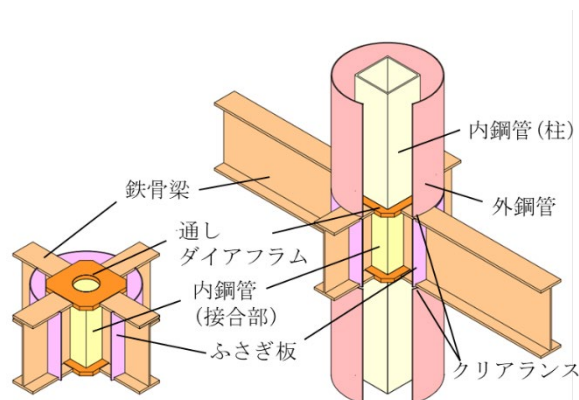
※2 JBCR は JFE スチールの登録商標です。

JFE シビルは、本構法を構造形式のラインナップに加えることで、更に合理的な構造種別を選択することが可能となり、今まで以上にお客様のニーズに応える提案を行ってまいります。

【J-SCS[®]構法の概要】



【柱梁接合部】



以上

【本件に関するお問い合わせ】

JFE シビル (株) 技術開発研究センター 研究開発部 TEL:03-3864-3793